



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[3月号]

◎**緊急連載**「能登半島地震 被災状況と復興への方向」(2) 珠洲市の被災現地に行く① 半島で発生した大震災、寸断された道路と倒壊家屋が復旧を阻む 基幹・宝立浄水場にモバイルシフォンタンク(日本原料<株>)を導入…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.88** 京都大学大学院 工学研究科都市環境工学専攻 准教授 日高 平氏を訪ねて メタン発酵を核とした資源エネルギーの循環生物処理に魅せられて…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**「新・全国統一指標」令和4年度取組状況のまとめ～建設工事や業務に関する品質確保や働き方改革のための取組状況をまとめました～**…国土交通省 ◎第47回技整五輪国際大会(フランス・リヨン)に出場する日本代表選手を決定しました～リヨン大会は2024年9月に開催、日本は47職種に55名を派遣～…厚生労働省 ◎**「令和5年版 日本の水資源の現況」**を公表…国土交通省 ◎**「雇用・労働関係の特例措置をまとめたリーフレットを作成しました」**…厚生労働省 ◎令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価について…国土交通省 ◎令和5年度 河川愛護月間「絵手紙」入賞作品決定！～川への思いが伝わってくる絵手紙です～…国土交通省 ◎令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて 北陸地方整備局に能登復興事務所を設置…国土交通省 ◎**「施工技術検定規則及び建設業法施行規則の一部を改正する省令」**等が公布～建設業における技術者制度の見直しが行われます～…国土交通省 ◎**「能登半島地震」**早期復旧へ管工事組合出動 全管連 相次いで被災地に派遣…月刊コア編集部 ◎**「寄稿」**「命の水物語」をお勧めします…(株)ミナミサワ代表取締役 南澤俊文 ◎**「明日への道標」**プラハの春を信じて～五輪の名花 チャスラフスカ～…(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎**「東京見て歩き」**(122) 再開発の日本橋界隈…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**「特別連載」**平成を偲ぶパロディ狂歌集(59)～平成一人百首「税務行政」その2(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎**「建築着工統計」**(2023年12月)…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[4月号]

◎**緊急連載**「能登半島地震 被災状況と復興への方向」(3) 珠洲市の被災現地に行く② 発生から3か月 浄水機能は復活したが…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 NO. 89** 京都大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 准教授 飛野智宏氏を訪ねて 活性汚泥の「クオラムセンシング」(微生物の情報伝達機構)解明に取り組む昔の夢をAI技術でかなえる…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎**「循環型社会の構築へ」**下水汚泥の最大限の肥料利用に向けたマニュアルを公開！～下水汚泥資源の肥料利用に関する検討手順書を公開しました～…国土交通省 ◎**「業務用建築物の脱炭素改修加速化事業(脱炭素ビルリノベ事業)」**の公募要領及び補助対象製品の型番の公開について…環境省 ◎**「再生支援の総合的対策を策定しました」**…経済産業省 ◎第26回日本水大賞の各賞を決定～水循環の健全化に貢献する様々な活動から特に優れたものを表彰～…国土交通省 ◎**「ダムを見に行こう」**春号2024～出会いと別れの季節をダムとともに～…国土交通省 ◎**「水循環教材の活用事例集 小学校・川の資料館編」**…内閣官房 水循環政策本部事務局 ◎**「九都県市が連携して身の回りのできる豪雨対策の広報に取り組んでいます！」**…東京都 都市整備局 ◎**「建設業の人材確保・育成に向けた取組を進めています」**～国土交通省・厚生労働省の令和6年度予算案の概要～…国土交通省 ◎**「能登半島地震」**断水解消支援強化能登地方3月末に9割強へ…月刊コア編集部 ◎**「明日への道標」**特撮は貧乏から生まれた一円谷英二 ゴジラの覚醒…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**「東京見て歩き」**(123)生まれ変わった二子玉川駅界隈(二子玉川ライズ)…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**「特別連載」**平成を偲ぶパロディ狂歌集(60)～平成一人百首 税務行政3(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎**「建築着工統計」**(2024年1月)…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

出家して京都郊外の日野に隠棲し、歌を詠み、随想を綴り、琵琶を奏でる。孤独ながら自由気儘に生きた鴨長明が鎌倉時代に執筆した『方丈記』は怒濤の天変地異が起きるたび多くの人々に読み継がれてきた。ちなみに方丈とは長明が閑居した一丈四方の小さな草庵に由来している。

わたしは高校生の頃、古典の授業で通読した。仏教的な教義を予想していたところ長明が実際に体験した地震、火災、竜巻、飢餓、疫病、戦乱、遷都による災厄が克明に描かれていて驚愕した。1185年に平安京を襲った大地震では当時の人口10万人のうち4万2千人を超える人命が失われたという。東日本大震災以降、長明の歴史的労作は日本最古の災害文学と評されるようになった。

冒頭の有名な一節「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」は万物が流転するというこの世の無常を説いている。だからといって長明はただ河の流れに身を任せればいいと諭しているわけではない。さまざまな天災と人災を経験しながら「月日重なり、年経にし後は、ことばにかけて言い出さずの人だになし」と記憶の風化を戒める辛辣な警句も残している。

平穏に生きるのが困難な時代に長明は悲惨な現実から眼を背けず正面から直視しようとした。わたしはその真摯なまなざしに試練を超えて生き抜こうとする意志を感じる。長明が淀みに浮かぶうたかた(泡沫)にたとえたように永遠に変わらないものはこの世に存在しないだろう。それでも河の流れそのものは絶えることがない。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第414号

令和6年5月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884